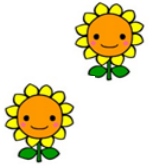


みんなの見守り・支え合いで地域を守りましょう



ひとり暮らしや、高齢者のみの世帯がますます多くなってきました。

ご家族と同居されていても、昼間はおひとりで過ごされている方もいらっしゃいます。私達が暮らし続ける私たちのまちの「地域包括ケアシステム」を上手く活用するには、ご近所の底力が必要です。

みんなでお互い様の気持ちで見守り支え合い、声かけし合い、より安心で暮らしやすいまちにしていきたいと思います。

調整役

ご相談やお困りごとは
地域包括支援センターへ！
相談や介護等サービスの
支援を行います。



認知症に優しいまち鶴岡

季節に合わない服装をしている、履いている靴がちぐはぐ、心細そうにしているなど、もしかして認知症？かな……
と思った時に声をかけてみましょう。



♥声かけのポイント

- ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから
- 声かけは「こんにちは」など、ごく普通にあいさつから
- 「私はすぐその〇〇ですが、どこへ行かれますか？」
「何かお困りですか？」と、やさしく声かける
- わかりやすい簡潔な言葉で、反応をみながら一つずつ話しかける
- 笑顔で相手のペースに合わせてながら接する
- 声かけても、上手く行かない場合は、いったん離れて、間をおき、近所の人から協力を得る

認知症により行先がわからなくなった時は110番しましょう。

みまもり

こんにちは！
良いお天気ですね

おはようございます
どうなさいましたか？



積極的な声掛けと
気配りが大切

ささえあい



地域活動の参加が
絆を作ります

認知症を正しく知ろう

本やテレビなどで認知症について取り上げられることが多くなってきました。認知症を正しく知るには、実際に認知症の人を気遣い、つながり合う事が大切です。
認知症を知る事は自分自身の認知症予防にもつながります。その第一歩として地域でのつながりを深めていきましょう。



認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは、身近にいる認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者。養成講座を受講すれば、誰でも認知症サポーターになれます。講座修了者には、サポーターである事を示す「オレンジリング」が渡されます。受講申し込みお問い合わせは、各担当の地域包括支援センターまでお気軽にどうぞ。

